

秋田の学校日記

城東中学校教諭 新垣裕己
平成30年4月23日(月)
第1号 不定期発行

秋田県に来てもうすぐ1か月となる。雪が降っている中の入学式は、生きている限り二度とないであろう。3月29日に初めて城東中学校の校門をくぐり、吹奏楽部の校歌と「はいさい」で気持ちよく迎えられた。職員の産土の会(歓迎会)で「めんそーれ城東中」と輪になって歌った、嬉しかった、熱いものを感じた。噂通りであったが、秋田県人は、とても温かく、これでもかというくらい親切にしてくれる。新学期が始まり、2週間が過ぎた。ここまでを振り返り、沖縄県に報告いたします。

(1)授業中の生徒の様子

城東中学校の生徒の学力は詳しくわからないが、「学習意欲」は計り知れない。間違いなく私の出会った学校の中で最高である。その理由としては、2つある。1つ目は、授業中の生徒の目がキラキラしている。誰一人として姿勢を崩す者がいなく、例え難易度の高い問題に対しても、諦めず粘り強く考えている。2つ目は、自己評価カードの記述内容である。「答えが1つなのに幾通りもの解き方があるところが、算数と違って楽しい」、「〇〇さんの発表を聞いて、自分の考えと合わせたら、また新しい解き方がわかった」、「〇〇さんと△△さんの議論がとても楽しかった、今度は自分がみんなに説明したい」などなど、多くの生徒に情意面の高まりが見られる。私自身、自己評価カードも大切だと考えるが、その5分間で何かもう一つ問題を解かせたほうが良いと考えていた。リフレクション(振り返り)が次時の学習(ねらい・意欲)へつながっている。

(2)学習指導(数学科)

正直、城東中学校だからできる授業の進め方だと感じている。毎時間1枚のワークシートを配る。そのワークシートの中身は、①復習、②本時のねらいとする課題、③定着問題、④個に応じた課題(A・B・C)、⑤教科書の問題となっている。これまでの私の指導より、単位時間における問題を解く量が明らかに多い、2倍~3倍はある。生徒の実態(学習意欲が高い)だからできる授業構成であるが、型にはまっていて、数学科の目標であり内容でもある「数学的活動」はそこには存在していないようにも感じる。塾講師の気分である。こればかりは、沖縄に持ち帰ることができないかもしれない(笑)。

(3)生活指導

城東中学校はノーチャイムである。全授業の開始時間3分前に着席、2分前に自学(数学なら復習問題)、開始時刻とともに始めのあいさつ。これが、全校一斉で徹底できている。特別教室や体育館への移動も、教室前廊下で整列し、一糸乱れぬ列のまま無言で移動できている。やはり、学力向上の鍵は、学習規律の徹底から始まるものだと改めて実感している。

なぜ(1)~(3)が実現できるのか、私なりの見解であるが、読んでください。裏面へGo!

一番は、城東中学校の生徒が非常に素直である。家庭や地域が並々ならぬ愛を育んできた賜である。しかし、その生徒達を指導している城東中学校の先生方の力がとても大きい。

学習指導・生徒指導が一貫して統一されており、全職員が同じことを同じように取り組む力量をもっている(私以外)。同じことを書くようでしつこいが、すべての教育活動が組織化、マニュアル化されており、それを当たり前のように全職員が共通実践している。教室の掲示物、係活動の決め方、日程通りに時間を動かすこと、細かい部分まで、全職員が統一して指導している。

終日、職員室でゆっくりしている先生はほぼいない。管理職も朝の会、給食時間、授業中も校内を巡視して生徒の様子を見ている。一人ひとりの先生方が、教師としての自覚と力量が高いように感じる。放課後も職員室には先生方がいない。部活動指導、閉門指導まで、生徒の指導をしている。先生方はいつ休んでいるのか、社会の要請と逆行してはいないのか、その姿勢に感動するし、私も頑張っていきたい。

校内研修では、この学校は附属学校か!と思った。

研究紀要なみの研究がなされ、道徳の時間、総合的な学習の時間も、理論研究がなされ、校内研修では先生方同士の話し合い活動が活発で充実した。道徳の東北研究大会を本校で11月に開催。それに向けた保護者参観が7月8日。道徳の授業を勉強できる1年間になりそうだ。



安保亨 校長先生(今年度退職)



秋田美人とハイポーズ

・思いやりの心
・元気なあいさつ
・時間前行動
・全校一致

生徒会
~4つのモットー~

「大いなる城東の心」
おおらかさ やさしさ
たくましさ
くじけず頑張る心

思いやりと助け合いの心
度量が寛大な心

oto
トフル城東ロゴマーク

学校教育目標は「志高く」、「大いなる城東の心」がスローガンとなっている

秋田の学校日記

城東中学校教諭 新垣裕己
平成30年5月9日(水)
第2号 不定期発行

沖縄そばと Awamori とハンドボールが恋しくなってきた。秋田での生活には慣れたが、学校生活は毎日満塁で過去最高に余裕がなく、なんとか毎日を過ごしている。それにしても、GW 明けにも関わらず、生徒たちの授業に向かう姿勢に、ただただ感動している。城東中学校の学力がどれくらいなのか疑問に思ったので、昨年度の全国学テの結果を調べてみた。それが以下の表である。

平成 29 年度 全国学力学習状況調査 平均正答率

	城東中	秋田県(公立)	全国(公立)	沖縄県	東風平中
国語 A	85%	82%	77.4%	72%	66%
国語 B	82%	78%	72.2%	67%	60%
数学 A	84%	68%	64.6%	58%	48%
数学 B	54%	52%	48.1%	42%	36%

城東中学校では、全国学テに向けて過去問で対策したり、特に事後指導を行ったりしている様子はない。数学 B では、3つの説明【事柄の説明・方法の説明・理由の説明】が問われるので、何かしら教師が手立てを講じないと、解くことは困難ではないだろうか。おそらくではあるが、先生方が、普段の授業から A 問題(基礎的・基本的な内容)の定着を図り、単元計画の中に B 問題を意図した授業を位置づけて実践していると推察する。

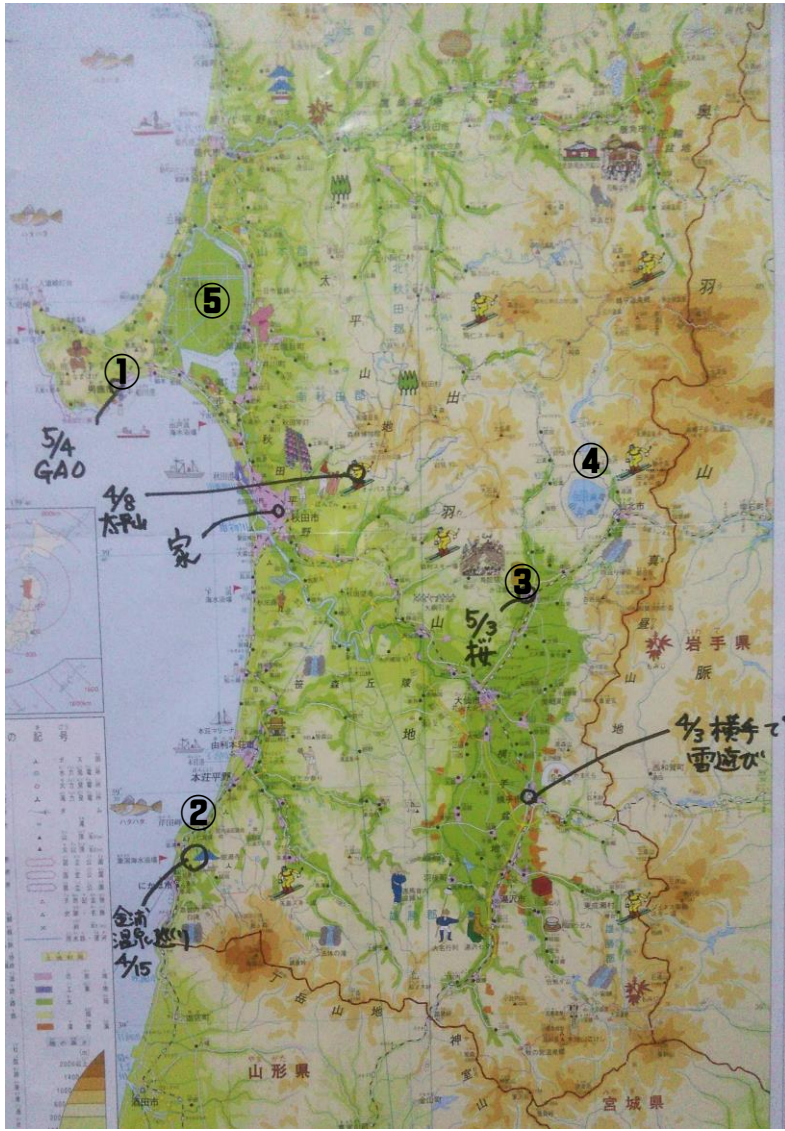
上の表が示しているとおおり、城東中学校の学力は、秋田県公立中学校の中でもトップクラス。県立秋田高校(沖縄でいう開邦高校)への進学率も、最も高いようだ。私の教科指導で、城東中学校の学力が下がらないよう、教材研究を疎かにせず、気を引き締めて指導していきたい。

学力高水準の秘訣は、生活習慣にあり！ ～気候と文化の差～

インターネットで「なぜ秋田県の学力は高いのか？」と検索すると、決まって「早寝・早起き・朝ご飯」が目飛び込んでくる。家族 5 人で秋田県の生活がスタートして 1 ヶ月が過ぎるが、我が家も「早寝・早起き」がすぐに定着した。その一つの要因として、秋田県は沖縄県に比べて太陽が早く沈み、太陽が早く昇るからではないか。朝は 4:30 には夜が明けて目が覚める(5月9日現在)、家族 5 人が 21:00 までには就寝し、朝 5:00 には起きている。私自身も、夜は寒くて外に出る気力が失われ、家でおとなしくしている。

「朝ご飯」に関しては、まず、「秋田のお米」が本当においしい。大きさかもしれませんが、お米の 1 粒 1 粒が輝いていて、沖縄ではなかなかご飯が進まなかった息子たちも、今ではぱくぱくご飯を食べて、お替わりするようになった。また、お肉、お魚、野菜(山菜・蓴菜)も新鮮で充実しており、いつの間にか私の体重も 2kg 増量した。我が家の生活習慣が改善されたのか、小学校三年生の長男も、沖縄では家庭学習を 1 ページやるのもやっとであったが、今では毎日 5 ページ取り組んでいる。沖縄県でも「早寝・早起き・朝ご飯」を提唱しているので、方向性は絶対に間違っていないことを、身をもって実感することができた。大人の私たちもふくめて、基本的な生活習慣の見直しが、学力向上の鍵となる。

裏面は、秋田の「旅行記」である。ソフトテニス部の顧問をしながらであるが、休日の合間を見て家族で出かけている。秋田県、本当に良いところだ。東北地方は 1 年間で行き尽くせないの、もう少し居てみたくなる。



- ① 男鹿半島
- ・なまはげ
- 水族館 GAO



- ② 金浦温泉・海鮮丼



- ③ 角館(かくののだて)・武家屋敷・桜の名所



- ⑤ 大潟村(干拓地)・菜の花ロード・日本一低い山(標高0m)



- ④ 田沢湖(日本一深い湖)

秋田の学校日記

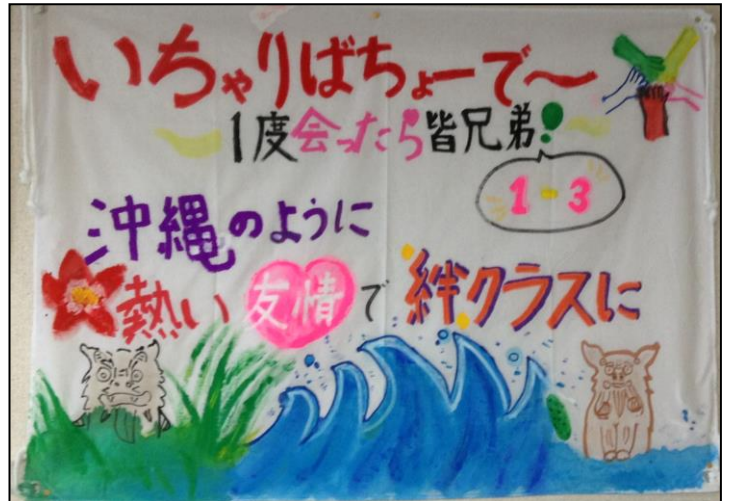
城東中学校教諭 新垣裕己
平成30年5月28日(月)
第3号 不定期発行

秋田県に来て「青空」を見ることはなかったが、最近は寒さが和らぎ、晴れの日が少しずつ多くなってきた。

今日から2週間、部活動強化期間に入り、45分授業&5校時&昼清掃で14:15下校、夏服への衣替調整期間となる。

右は私のクラスの学級目標である。担任へ配慮したのか、沖縄をイメージした目標をデザインしてくれた。でーじ嬉しいさあ〜。

本号は、沖縄県の先生方からの「質問」に対しての私なりの回答となる。今回は一番真面目に書いてみた。質問の意図とズレていたらすみません。悪しからず・・・

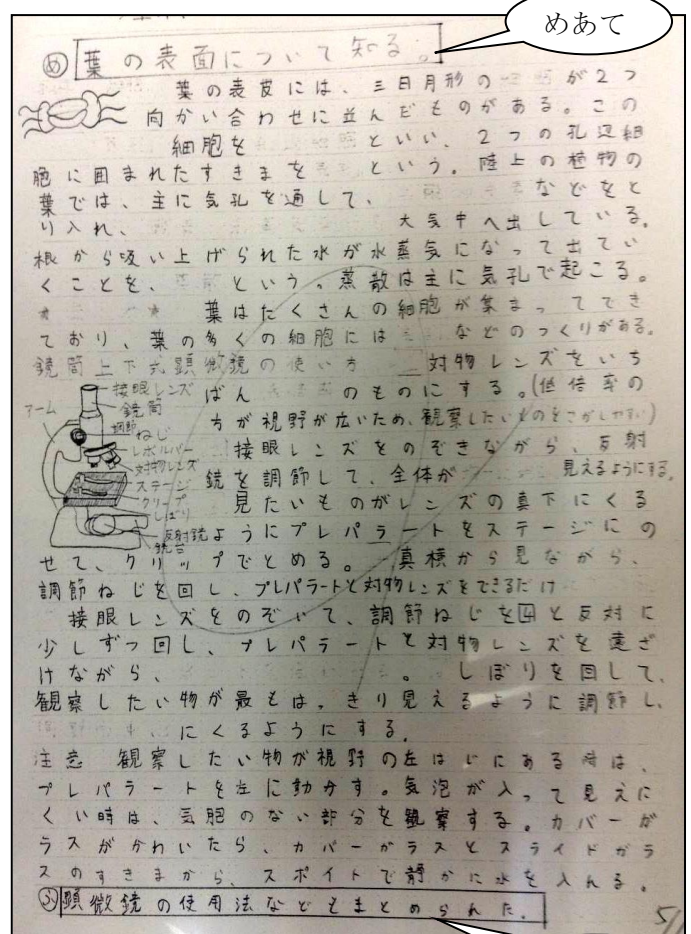


「家庭学習の取り組みについて」 南風原町立 南風原中学校 主幹教諭 副田健太郎先生(国語科)

家庭学習といえば、渡口尚子先生(現具志頭中学校)を思い出す。尚子先生は、毎日欠かさず全員の家庭学習にコメントを書き添えており、今だからこそ、改めてその大切さを感じている。

城東中学校の家庭学習の取り組みは、沖縄県と特に差はない。1日1ページ以上を毎朝提出し、担任が学習委員と協力して点検するという流れである。差があるとすれば、生徒によって個人差はあるものの、その内容の「質」が高い。驚いたのは、家庭学習にも「めあて」と「ふりかえり」が記載されており、まるで生徒自身が「自ら」を客観的に振り返り、授業板書を行っているようにも見える(右図)。小学校に通う息子も家庭学習に「めあて」を書くようになり、1ページに時間をかけて取り組むようになった。小学校からの家庭学習の指導が中学校でも生きているのであろう。

沖縄県では家庭学習から教科の宿題へ移行している中学校もあり、賛否両論あるかもしれない。私もどちらが沖縄県の子供たちのためになるのか悩むところである。もし、生徒の「学習意欲の芽生え」を目的とするのであれば、家庭学習が「やらされ感」が少なく、また、家庭学習をコミュニケーションツールとし、生徒理解も含め学級経営に活かすことができるかもしれない。私も毎朝の家庭学習&ふれあいノート点検で、楽しみながら生徒の様子を把握し、レポートづくりに役立てている。



城東中学校の家庭学習の時間(教科の宿題も含む)

小学校	中1	中2	中3
(10分×学年)分〜	80分〜	100分〜	120分〜

沖縄県教育委員会 義務教育課 指導主事 仲松研先生(数学科)より

(1)業務内容の差

もちろん沖縄県と校務分掌の内容は変わらないが、沖縄県に比べてクラス数の割に職員数が圧倒的に少ないので、時数も週 24 コマは当たり前でいくつもの分掌をもっている先生がいる。1~3 年部に加えて 4 年部があり、実務を司る(職場のリーダー的役割)のが生徒指導主事、研究主任である。私は研究主任を中心とした学習指導部に所属しており、週に 1 コマ設定されている学習指導部会に参加している。とにかく言えることが、すべての教育活動が「組織的」で、先生方が常に意思疎通を図り、共通実践している。したがって、「〇〇先生は~言っていたのに」「〇組は~しているのに」ということがなく、どのクラスにも、どの生徒にも「分け隔てのない教育」を遂行していると感じている。

(2)活用問題の取り組み

全国学テの結果だけを見て私なりに分析すると、A 問題の平均正答率が 84%は、かなり高い数値だ(右表)。城東中学校数学科の学習シートや単位時間における演習量が功を奏しているのであろう。しかしながら、もし課題をあげるとすれば、A 問題に比べて B 問題の平均正答率は著しく高いとはいえない。その要因として考えられるのが、「学習シート」に頼る授業の進め方だと推察している。B 問題では、3 つの説明(事柄・方法・理由)が問われるので、数学的な見方・考え方ははぐくむ数学的活動の実践が必要だと考える。それゆえに、単元の導入場面・終末場面などで「主体的・対話的で深い学び」を目指した活用型の授業を意図的・計画的に実践していかなければならない。私も 6 月上旬に、単元「正負の数」の終末に、以前勉強した「知識構成型ジグソー法」の手法を用いて活用型の授業を計画している。生徒がどのような反応をし、どのような振り返りコメントが返ってくるのか、今から楽しみである。

H29 度	城東中	全国	沖縄県
数学 A	84%	64.6%	58%
数学 B	54%	48.1%	42%

(3)縦もち学級

「縦もち学級」という文言は昨年度、東風平中学校の仲村智先生と伊敷直恵先生の発表で、福井県の教育先進県視察の発表で初めて聞いた。縦もち学級とは、1 人の先生が、教科を複数学年担当することである。3 学年分の教材研究は大変であるが、全職員で全校生徒を指導していくという方針は、言うまでもなく効果が期待できる。城東中学校では縦もち学級を意図して編成してはいないが、体育科は複数学級を体育科の先生全員で指導している(東風平中学校同様)。私は教科指導で 1 学年 5 学級×週 4 コマである。せっかくの機会なので他の先生方の授業を見て勉強したいが、時間がなかなか確保できず、未だ授業観察ができていない現状である。

(4)教科会の質

教科会の時間は週時程に位置づけられておらず、その都度、必要なときに意思疎通を図っている。驚いたのが、「水曜研修」という名のもと、定期的に秋田市の数学科が集い(100 名以上はいる)、秋田市数学科のテーマのもと、各領域でグループに分かれ、理論研究・授業実践している。イメージとしては「島尻地区研修の日」だ。私も 10 月に主事招聘授業を予定しているので、それを名目で、どなたか秋田県に遊びに来てくれたら嬉しいな。

秋田市新職員研修に参加 沖縄県でも各市町村で教育目標はあるのだろうか、調べてみようと思う。

秋田市教育の目指す姿(秋田市教育ビジョン) 「郷土あきたの明日を拓く『自立と共生』の人づくり」

目標 1 志を持ち「徳・知・体」の調和のとれた子どもをはぐくむ学校教育の充実

※知徳体ではなく、徳知体と「徳」を重視しているのが東風平中学校と同じであることに驚いた。

目標 2 将来にわたり安全安心で快適な学校教育環境の充実

目標 3 生涯を通じて個性と能力を発揮できる社会教育の充実

秋田の学校日記

城東中学校教諭 新垣裕己
平成30年6月22日(金)
第4号 不定期発行

秋田の「短い夏」が到来した。ようやく半袖で過ごせるようになった。朝夕は未だヒンヤリしていて心地いい。沖縄県中学校の6月といえば、3年生にとって最後の夏「地区総体」で盛り上がる。秋田県も同様で、つい先日、秋田市中総体が終わった。城東中学校はサッカーが22年ぶりの優勝、野球が準優勝、その他の部活動も入賞し、大いに沸いた。ソフトテニス部顧問の私は、大会運営で駐車場係を頑張った(笑)！?(個人1ペアが県大会出場)

沖縄にいる頃よりも真っ黒に日焼けしている。12年間ずっとハンドボールだったので、屋外部活顧問の先生方の変なことを、身をもって実感。冬は雪が降るらしいが、ソフトテニスできるのかな…、雪かきが楽しみだ。

市中総体の「壮行会」では、全校生徒約500名が輪になり肩を組んで「がんばろーぜ城東中」と歌った。応援団がリードする「校歌の熱唱」を聞いたとき、目から熱いものが落ちた…。この感動を言葉で表現する文才はないので、沖縄に帰ってから機会があれば動画で見せたいと思う。本号は部活動特集&数学の授業実践です！

(次号は秋田の高校入試&総合テスト&学習規律について書く予定)

「ここが違う！秋田県と沖縄県の部活動」

(1) 総合開会式～選手だけでなく応援団(帰宅部)も参戦～

平成30年6月16日(土)午前7:55、気温19℃、秋田市中学校総合体育大会の開会式が始まった。この開会式は、秋田市の中学校26校、約7600人が八橋陸上競技場に一堂に会する大イベントであった。まるで沖縄県の地区陸上だ。開会式では秋田市全吹奏楽部の演奏のもと「入場行進」があり、各校の応援団にはチアガールもいる。大げさかもしれないがテレビで見る「甲子園の開会式か!？」と思った。秋田市中体連会長は挨拶で、「秋田市の開会式は全国屈指だ」と述べられていた。昔ながらの総合開会式が、今も秋田市に存在していた!

(2) 振替休業日～先生方にONとOFFを与えてくれる秋田県～

なんと、秋田県には大会の振替休業日がございます!詳しく言うと、(土)(日)(月)の3日間は大会で、(火)(水)は振替休業日です!沖縄県部顧問の先生方、Akita インチキ〜だと思っただけですか。無部(帰宅部)の生徒は大会期間中の3日間は応援団となり、応援計画のもと動く。城東中学校はサッカーと野球が決勝に残ったので二手に分かれて全校生徒で応援をした。秋田県は1年間に中体連主催の大会が春季、夏季、秋季と3回あり、振替休業日が位置づけられている。「45分授業もけっこうあるし、授業時数は足りているのかな…」と、心配するふりをする私…

(3) 秋田市教育委員会より部活動方針～教員の超過勤務にメス～

現在秋田市では第1&第3日曜日は部活動停止だ。秋田市内すべての中学校の全部活動が足並みをそろえて遵守している。働き方改革が叫ばれる中、スポーツ庁のガイドラインに準じ、秋田市教育委員会から以下の通達があった。沖縄県でも同様の通達はあるかと思う、東風平中学校でも部顧問会でよく議論したのが懐かしい。秋田市は、どちらかというとトップダウン(市→学校長→職員)がスムーズなのかもしれない。

秋田市教育委員会「秋田市立中・高等学校における部活動方針」より引用(平成30年8月から実施)

- ① 平日の活動時間は、2時間程度とする。
- ② 平日の休業日を毎週1日以上設ける。
- ③ 土・日(祝日)の活動時間は、3時間程度とする。
- ④ 土・日は、少なくとも1日以上休養日を設ける。
- ⑤ 大会参加などにより、土・日(祝日)の両日に活動する場合は、代替休養日を大会翌日に設ける。

【知識構成型ジグソー法を用いた授業実践】 第1学年 正負の数 6月上旬 5クラス全て実施

城東中学校で初めて活用型の授業を試みた(活用型になっているかはわかりませんが)。生徒達はまるで脳に汗をかいているように、楽しみながらも粘り強く考えている姿が見られた。そんな生徒の姿を見ると、沖縄県での実践と同様に、授業が楽しい子供たちがより可愛く感じる。本授業実践の様子を、簡単にまとめてみた。

① 学習目標

正負の数の四則計算により、5種類の硬貨を合わせて50枚製造する方法を考え、提案することができる。

② 実践内容

※数学的活動【②数学を利用する活動】を意図

⑦ 本時の課題

消費税8%により、日本は硬貨が不足しています。そこで、みなさんにお願ひがあります。
 〈課題〉あなたは造幣局(お金をつくる会社)の社員です。赤字にも黒字にもならないように、
 5種類の硬貨を合わせて50枚作り、それぞれ何枚作るのか提案しなさい。

① エキスパート活動(A班2名、B班2名でペア学習を行う)

生徒は、エキスパート活動で各硬貨を1枚製造すると、材料費からいくらの損益が得られるのか、正負の数の計算により求め、図1の表の空欄を書き入れることができた。例えば、1円玉1枚の材料費は3円であり、1枚作ると $1-3=-2$ で、2円の赤字になることがわかる。

	1円玉	5円玉	10円玉
この硬貨			
材料費	3円	8円	10円
式	$1-3$		
+円 -円	-2円	円	円

	1円玉	50円玉	100円玉
この硬貨			
材料費	3円	20円	25円
式	$1-3$		
+円 -円	-2円	円	円

図1 エキスパート課題A(左)・エキスパート課題B(右)

② ジグソー活動(A班2名+B班2名=4名グループ)

生徒は、エキスパート活動で求めた各硬貨の損益を互いに伝え合い、本課題である「赤字にも黒字にもならないように5種類の硬貨をそれぞれ何枚作るのか」考え提案する。生徒は既有知識である正負の数の四則計算を駆使し、対話と試行錯誤から粘り強く考え合う姿が見られた(図2)。

③ クロストーク(クラス全員)

本授業では5つの班がクラス全員に発表し、それぞれが異なった解と考え方を発表することができ、クラス全体で共有することができた(図3)。



図2 ジグソー活動の様子



図3 クロストークの様子

秋田の学校日記

城東中学校教諭 新垣裕己
平成30年7月9日(月)
第5号 不定期発行

台風7号が秋田まで近づいたのか、7月なのに朝夕は肌寒い。七夕の日も午前中は18℃。しかしながら30℃を超える暑い日もあり、夏場は体育着登校を認めている。普段スーツ姿の先生方も軽装となり、ハーフパンツ姿の先生も見られ、なぜかほっとする私が出た。なんと、教室にクーラー&扇風機がないどころか、職員室にもクーラーがない！教室よりも職員室が暑い状況は初めてだ。とは言っても夏の暑さは8月までらしい・・・

先日、帰りの会で生徒指導主事より「小学校(校区)の裏山に、熊の発見情報がありました、近くを通る生徒のみなさんは気をつけて帰って下さい」と校内放送があった。それを聞いて「自分は今、秋田にいるんだ」と、ふと我に返った。目の前にいる生徒を眺めながら、残り9ヶ月、「最初で最後の秋田の教え子」たちと楽しく過ごしていこうと、熊さんのおかげで改めて誓うことができた。7月8日(日)は「道徳の保護者参観」があった。31人学級に29人(子供含む)の保護者が参観、研究発表会より緊張した。保護者の関心の高さは半端ないって...

秋田の定期テストへの取り組み～秋田県高校入試は1日5教科+面接～

城東中学校は2学期制であり、年に3回の定期テストがある。1日に5教科のテストは大変だと疑問に思っていたら、秋田県の高校入試が1日で5教科(国数英は60分)と面接を実施することから、それに準じているのだろう。これは並々ならぬ集中力と「たくましさ」を要するのではないかと。秋田県のテストに向けての取り組みは、沖縄県と変わりはない。テスト3週間前にはテスト範囲を公表し、4日前から部活動停止となる。違いがあるとすれば、学習計画表の「質」が高い。当たり前であるがやはり、ただ生徒に配布するのではなく、担任がその書き方を指導することや、生徒の学習状況をチェックすることは、生徒が日頃の学習を「ふりかえり」、目標達成に向けて「見通し」を持って学習する手立てになるであろう。以下は、生徒の学習計画表である。

日	予定・部活動	国語	社会	数学	理科	英語	評価	印
19	振替休業日	④P42	④20-21	④29-35	④P20-31	④12-15	A	新
20		④P130	④P18-19	④P22-29		16-19	90	新
21	振替休業日	④P47	④22-23	④26-42	④P39-31	④20-23	A	新
22	給食なし 弁当	④P131	④P20-21	④P20-31		24-27	129	新
23	給食なし 弁当	④P52		④42-49	④P28-41	④28-31	A	新
24	1年生 部活動(25日休)	④P12	④24-25	④30-34	休	④20-25	B	新
25	土	④P11	④P8.9	④P28-35		36-39	120	新
26	東京フィル ワークショップ	④P3	④P26-29	④28-35	④P28-45	④28-39	B	新
27	日	④P4	④P15.5	④P26-29		40-41	190	新
28	月	④P9	④P2-9	④P22-23	④P22-23	④42-45	A	新
29	火	④P5	④P18-19	④P42-45	④P24-25	④44-45	190	新
30	水	④P6	④P10-15	④P46-47		④46-49	B	新
31	木	④P10-15	④P10-15	4F-4F	休	④P19-21	145	新
1	金	④P16-17	④P14-15	④P20-21		④P22-23	200	新
2	土	④P18-19	④P10-11	④P14.5	休	④P24-27	B	新
3	日	④P22-23	④P12-13	④26-29		④P28-31	90	新
4	月	④P14.5	④P10-11	④P14.5	休	④P14.5	140	新
5	火	④P22-23	④P12-13	④26-29		④P28-31	120	新
6	水	④P14.5	④P10-11	④P14.5	休	④P14.5	140	新
7	木	④P22-23	④P12-13	④26-29		④P28-31	B	新
8	金	④P14.5	④P10-11	④P14.5	休	④P14.5	140	新
9	土	④P22-23	④P12-13	④26-29		④P28-31	C	新
10	日	④P14.5	④P10-11	④P14.5	休	④P14.5	140	新
11	月	④P22-23	④P12-13	④26-29		④P28-31	60	新
12	火	④P14.5	④P10-11	④P14.5	休	④P14.5	140	新
13	水	④P22-23	④P12-13	④26-29		④P28-31	C	新
14	木	④P14.5	④P10-11	④P14.5	休	④P14.5	140	新
15	金	④P22-23	④P12-13	④26-29		④P28-31	60	新
16	土	④P14.5	④P10-11	④P14.5	休	④P14.5	140	新
17	日	④P22-23	④P12-13	④26-29		④P28-31	60	新
18	月	④P14.5	④P10-11	④P14.5	休	④P14.5	140	新
19	火	④P22-23	④P12-13	④26-29		④P28-31	125	新
20	水	④P14.5	④P10-11	④P14.5	休	④P14.5	140	新

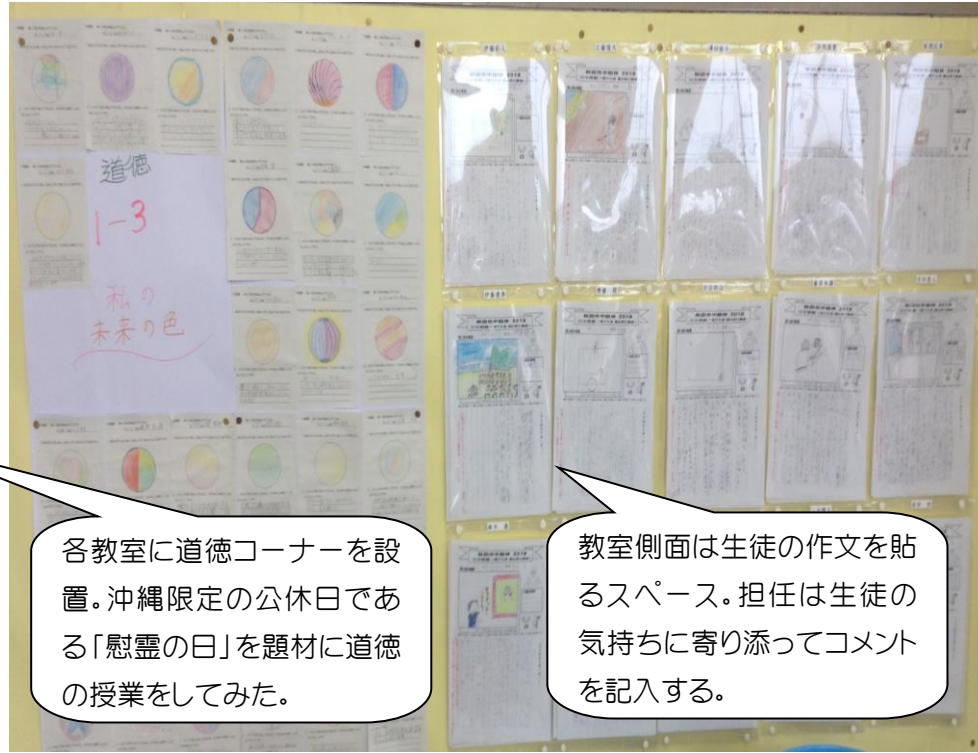
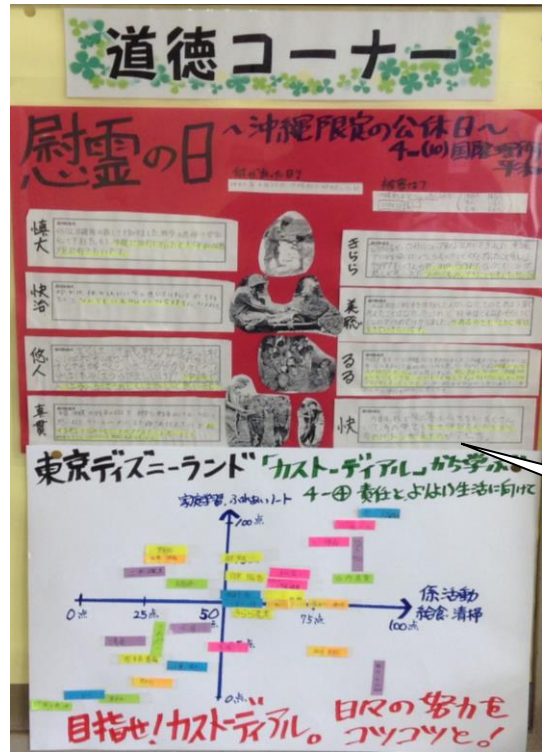
秋田県の教室環境 ～全職員の共通理解のもと環境を整える～

秋田に来て最も驚いたことの一つに、生徒は、「学校に置いてよいもの」以外は、毎日きちんと持ち帰っている。放課後は机・ロッカーの中が空っぽである。沖縄県でも同様のルールだが、徹底できている中学校はあるだろうか。しかしながら、生徒は部活動の道具も含め、毎日10kg以上は持ち歩いているのではないかと。以前、「重荷を背負う小学生」が話題となったが、鞆が重すぎて負担が大きいという保護者の声も少なからずあるだろう。

次のページは、私のクラスの教室である。教室の掲示物は、その内容もふくめ、全学級で統一されている。



正面黒板は、授業のために使う。諸連絡や掲示物などの情報は黒板に貼らない。



各教室に道徳コーナーを設置。沖縄限定の公休日である「慰霊の日」を題材に道徳の授業を試みた。

教室側面は生徒の作文を貼るスペース。担任は生徒の気持ちに寄り添ってコメントを記入する。



放課後の教室。机の上は何も残さず、机とロッカーの中身はからっぽの状態である。

学校に置いてもいい教科書類は、棚の中で保管する。

ロッカーの中には城東バッグ。背面黒板は週行事予定、毎日の目標・時間割を係が記入する。



秋田の学校日記

城東中学校教諭 新垣裕己
平成30年8月22日(水)
第6号 不定期発行

100回目の夏、甲子園が幕を閉じた。秋田県は、金足農業高校が103年ぶりの決勝進出を果たし、大いに盛り上がった。雑草軍団が次々と強豪校を逆転勝ちしていく姿や、地元からこよなく愛されている金農ナインに感動し、私もまるで秋田県民になったかのように全力で応援した。その良き年度に秋田にいて幸せだ、感謝です。

城東中学校の夏休みは7月24日(火)～8月26日(日)の34日間である。秋田県の夏休みは沖縄県と変わりなく、夏休みの宿題、補習、三者面談、校内研修がある。陸上競技部があるので、地区陸上の取り組みはなく、各部活動で日々の練習、大会、遠征などを行っている。本号は、夏休み特集、半分以上は私事です、悪しからず…

① JotoSeminar II (7月24日～7月25日) & JotoSeminar III (8月23日～8月24日)

城東中学校では、Joto Seminar という補習が年間でI～Vの5回計画されており、主に、テスト前と長期休業中に実施される。夏休みは、JotoSeminar II (2日間)とIII (2日間)の4日間実施した。その取り組み内容が以下の表である。1年生は、155名中70名が受講し、冷房環境のない暑い教室で、夏休み明けの課題テストIに向け、一生懸命課題に取り組む姿が見られた。安保校長先生(数学科)も常に校長室を開放し、個別指導を行っている。

JotoSeminar	II	III
実施日時	7月24日～25日 2コマ	8月23日～24日 2コマ
方針	5教科担当教諭が授業形式で実施	学習相談形式(申し込み不要)
内容	4月～7月までの総復習	夏休みの課題や夏休み中の学習内容の疑問解消



② 三者面談 (7月27日～8月3日の期間)

三者面談では1年生にも関わらず、生徒とその保護者の「進路」への関心が高い。先生方から秋田の県立高校の状況について教えていただいたので、生徒のテスト結果と照らし合わせて、何とか説明することができた。私の学級では、31名中28名が将来の職業を、21名が志望校を記載していた。「あきたでドリーム～ふるさとあきたで夢を育てよう～」という小中高が連携したキャリアノートの取り組みもあり、段階に応じたキャリア教育の充実を図っている(上の図は、小学校1年生の頃の生徒の記述、義務教育9年間の記録が冊子になっている)。

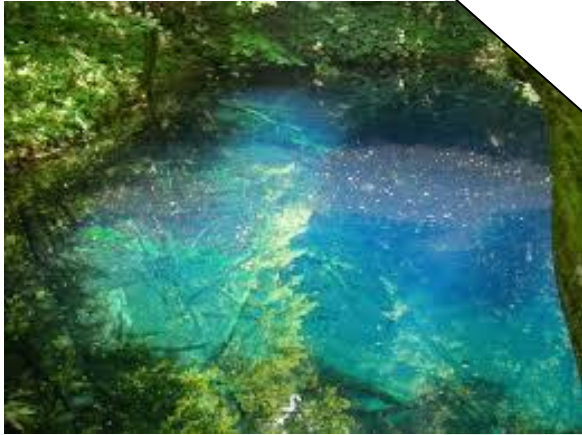
次のページは夏休み号外編である。夏季休暇を利用して家族5人、自家用車で東北を巡った。東北地方は、観るものすべてが雄大&壮観で、大自然の美しさに感動した。食では特に、青森港の海鮮丼のつけ放題、鳥海山麓の岩牡蠣、宮城県松島湾の海鮮焼き、仙台の牛タンなどなど、海の幸・山の幸を堪能した。

8月25日(土)は、第92回全国花火競争大会「大曲の花火」をツアーで予定している。人口4万人弱の大仙市大曲地区に約80万人が集まる、世界最高峰の花火大会が今から楽しみで眠れない。迷子とトイレに注意らしい…

東北最後の夏休み 「みちのくの旅」～東北満載・東北三昧～

8月12日(日) 青森県

- ③ 世界遺産 白神山地の麓十二湖の「青池」
なぜマゼランブルーなのか、未だ科学的に解明されず。



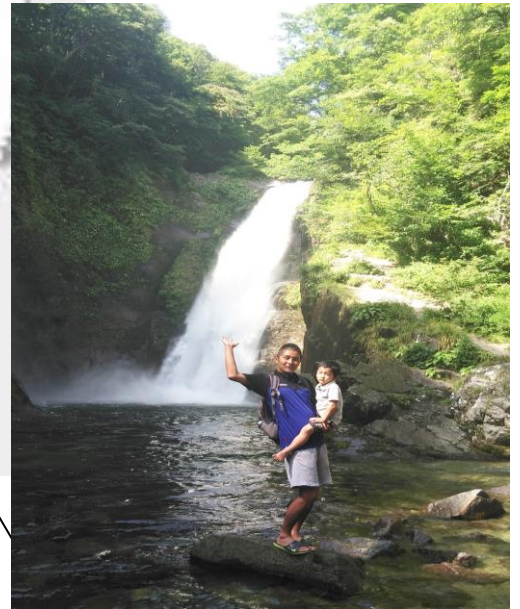
8月7日(火) 岩手県 小岩井農場

- ① 岩手山が壮観、まるでアルプス
- ② 日本三大鍾乳洞 龍泉洞

自宅

8月13日(月) 山形県

- ④ 十六羅漢岩
- ⑤ 鳥海山 2236m には未だに雪が残っていた。



8月15日(水) 宮城県

- ⑧ 日本三大名瀑 秋保大滝
- ⑨ 日本三景 松島湾 東日本大震災被災地巡り

8月14日(火) 宮城県

- ⑥ 八木山ベニーランドで丸一日遊園地
- ⑦ 仙台の牛タンに感動。分厚くてリーズナブルで美味～



秋田の学校日記

城東中学校教諭 新垣裕己
平成30年10月11日(木)
第7号 不定期発行

久しぶりの学校日記である。夏休みが明けて1ヶ月が過ぎるが、9月は最も忙しく、かなり充実した。この1ヶ月の間に、城東祭(文化的行事)、合唱コンクール(それに向けた朝練)、城東カップ(体育的行事、それに向けた朝練)、指導主事招聘授業指導案、評定交換、通知表所見、秋田市中体連秋季大会などなど(家族との生活も含め)、息を抜く暇もなく、あっという間に過ぎた。それにしても、行事や提出物が目白押しの中、城東中の先生方の「働きぶり」に尊敬と感謝の気持ちでいっぱいである。どんなに忙しくても、「当たり前のことを当たり前、丁寧に生徒を指導する姿」を、しっかりと目に焼き付けることができた。

10月16日(火)の秋田市教育委員会計画訪問や、11月8日(木)の東北道徳大会では、東風平中職員が視察で秋田に来る。城東中学校はもちろん「秋田」を堪能してほしいので、どこに連れて行こうか今から楽しみである。

(1) 9月8日(土) 城東祭 2018 ～城東生の英知の結集～

文化的行事は主に展示の部・舞台の部に分かれ、生徒の日頃の学習の成果や、総合的な学習の時間の取組を、保護者や地域に披露する絶好の機会となる。沖縄県では私の経験上、生徒会各種専門委員会に所属している生徒が運営を手伝っている。城東中では、全校生徒が以下に示す13の「部門」のいずれかに所属する。全校生徒に役割が与えられ、それぞれの持ち場で城東祭を支えている。その取組には、多様な他者(異学年)と協働することや課題を見だし合意形成を図ること、自主的・実践的な集団活動などといった、「特別活動の目標」が詰まっていた。舞台の部では吹奏楽や城東太鼓などの発表に加え、「オズバンド」(職員チーム)が中島みゆきの「糸」を披露し、会場を大いに盛り上げた。

部門名 ①生徒会総務部門 ②セレモニー部門 ③生徒会展示部門 ④吹奏楽部門 ⑤美術部門 ⑥科学部門
⑦城東太鼓部門 ⑧合唱コンクール・ステージ発表部門 ⑨アトラクション部門 ⑩パネル・美化部門
⑪売店部門 ⑫教科展示部門 ⑬学年展示部門



美術部(上図)、科学部(右図)の発表



3年生の生徒会執行部員を全校で労う



迫力満点の城東太鼓



(2) 9月10日(月) 東京フィルハーモニー交響楽団公演 ～これぞ本物の芸術～

日本一長い歴史を誇る東京フィルハーモニー交響楽団(80名)が、城東中にやってきた。音楽とは無縁の世界で生きてきたが、そんな私でも、演奏の迫力や音色に自然と聴き入った。各学年の代表生徒がプロのオーケストラを指揮したり、全校生徒でボディーパーカッションをしたり、贅沢な90分間を体験することができた。沖縄にも来てくれないかな、文化庁事業に応募して当選すれば実現できるかも(何と無料！)。



(3) 9月19日(水) 校内合唱コンクール ～合唱力は学力に比例するか！？～

沖縄では11月頃に開催される行事である。夏休みが明けて3週間程度の練習期間となるということもあり、ある学級では夏休みの早朝に集まって練習したり、夏休み明けは朝7時半に登校して練習したり、「部活動の朝練か！」と思わせるくらい、城東生の行事に向かっていく熱意を感じた。学級全員が時間を合わせて早朝に集まれる学校って他にあるのか！？当然であるが先生方も保護者のみなさんも、朝の準備などが大変だったのでは。

(4) 10月4日(木)～5日(金) JOTO CUP ～学級・学年・学校が熱く燃えた～

城東カップというスポーツレクリエーション大会が開催された。全校生徒が以下の[A]～[D]の4種目に出場し、各学年で学級対抗戦を行う。私もPTAチーム(会長・副会長・教頭・私)として駅伝種目に出場。1年生男子と競走して見事に最下位だったが、久々に全力で走らされ、気分不良&筋肉痛、生まれて初めて「歳」を感じた。

城東祭に続き城東カップも、代表委員という各学年のリーダーが集合整列やルール説明、競技の進行を行っていた。もちろん先生方の指導(サポート)があつてのものであるが、生徒自身で創り上げ、盛り上がる行事は素晴らしいな、純粋に他者を応援し応援される城東生はステキだなと、初任校での目玉行事「伊良波フェスタ」を思い出した。

- | | |
|----------------|----------------|
| [A] バスケット・サッカー | [B] 学年演技・卓球・駅伝 |
| [C] 長縄 | [D] 集団行動 |



(番外編) 9月17日(月) 八郎潟田んぼアート稲刈り体験

城東中職員に勧められ、八郎潟町で開催された田んぼアート稲刈り体験に参加させてもらった。沖縄から稲を刈りに来たという噂が届いたのか、秋田魁新報や八郎潟町の広報より取材を受け、特別に掲載していただいた。予想以上に、息子達が楽しみながら稲刈りをしている姿が見られ、秋田に連れてきて良かったなど、改めて感謝している。ありがとうございます。

稲刈りの後は、おにぎりといぶりがっこ、豚汁が振る舞われ、秋田の自然と食を満喫することができた。もうすぐ、恐れ多し秋田の冬がやってくる。すでに17時には真っ暗。早いもので残り半年、未知の世界を楽しむぞー！



秋田の学校日記

城東中学校教諭 新垣裕己
平成30年11月12日(月)
第8号 不定期発行

10月下旬～11月上旬は実りの秋、収穫の秋、充実の秋となった。秋田市教育委員会計画訪問や中央教育事務所所長訪問、東北道徳教育研究大会(本校会場)、秋田県学力向上フォーラムが開催され、学びの多い1か月間となった。また、これらの研修に合わせて沖縄県から多くの先生方が本校を視察、夜は秋田の魚やきりたんぼ鍋、日本酒と共に有意義な時間を過ごすことができた。お忙しい中「来る者拒まず」引き受けていただいた安保校長先生をはじめ、城東中学校職員のみなさまに感謝です。本当にありがとうございました。秋田での生活も早いもので残り4か月半となった。次年度もう1年留年(笑)できないかな?引き続きご指導よろしくお願ひします。

(1)10月16日(火) 秋田市教育委員会計画訪問 (東風平中授業改善リーダー吉元康王先生も来校して視察)

沖縄県でも市町村教育委員会訪問は計画されているが、秋田市ではその訪問に合わせて、全9教科10科目の指導主事の先生方も来校し、私たちの特定授業(研究授業)に対して指導助言を行っている。沖縄県では各教科それぞれで、指導主事と授業担当者の日程を調整して実施するが、秋田市では1日で全教科一斉に行っている。まるで附属学校の研究発表会のような。しかしながら、秋田市全26校を1年間かけて訪問するので、教育委員会の先生方もさぞかし大変ではないのか。私も数学科を代表して授業させていただいた(以下の写真と次頁に記載)。

- 1校時 学校経営説明(研究概要含む)
- 2校時 一般授業(校内一巡)
- 3校時 特定授業(指導主事招聘授業)
- 午後① 研究協議会(教科ごとの分科会Ⅰ)
 - ② テーマに基づく協議会(分科会Ⅱ)
 - ③ 全体会



(2)10月26日(金) 秋田県教育庁中央教育事務所所長訪問

今回の所長訪問は、管内学校訪問の最終日となった。当日は爽やかな秋晴れのもと(とは言っても16℃)、吹奏楽部の歌で所長を迎える「うとういむち」が気持ちイイ。所長から、「生徒が実にのびのびと明るく、安心して自分を出している様子があった。大いなる城東の心の具現化に向け、生徒指導を機能させてきた取組の成果がよく見えた。学びの履歴が教室や廊下の掲示物からよく見えた。一つ一つに担任のコメントがあり、丁寧に指導がなされていることや、バランス良く学び合っている様子がうかがえた。授業を見させてもらってすがすがしい気持ちになった。」と感想をいただいた(校長室の窓外より抜粋)。



(3) 11月8日(木) 第16回東北地区中学校道徳教育研究大会(秋田大会)

中学校では次年度より教科化となる中、見出しの大会が本校で開催された。大会は午後からなので、午前中は東風平中1名、港川中2名、本部小1名の先生方が、本校の普段の学校生活を視察した。道徳大会の準備で忙しい中、視察を受け入れ授業を参観させていただき、ありがとうございました。すれ違う生徒たちの中には「はいさい!」「いちゃりばちょーでー」「なんくるないさ〜」と挨拶する姿が見られ、沖縄が少しずつ浸透してきたなど、意味のない手ごたえを感じている。午後の大会では所属学年の授業を参観。授業者の先生の語り方、生徒の想いに「なるほど」と共感する姿が素敵で、「思いを語り合い、考えを深める道徳科」の実践が見てとれた。

(4) 11月9日(金)~10日(土) 平成30年度秋田県学力向上フォーラム in 大館市(秋田県教育委員会主催)

大館市立北陽中学校数学科の公開授業を2コマ参観させてもらった。これまで数多くの研究授業を参観させてもらったが、私の中でNo.1!まさに衝撃を受けた授業だった。授業の中における北陽中学校生徒の挨拶や返事、発表する生徒におへそを向けてうなずきながら聴き入る姿、「なるほど」と感じた時の感嘆の声など、生徒同士で学びを深める「つなぎ合い」を直に見ることができ、感動した。きっと、北陽中学校職員が一丸となって純朴な生徒たちを育ててきた賜であるに違いない。授業者の発問や問の取り方も絶妙で、生徒の思考をタイミングよく繋いでおり、教材研究力の深さを感じることができた。また、北陽中学校は嘉手納中学校との交流事業が5年目となるらしい。大変おこがましいが、東風平中学校と城東中学校で、交流事業が実現できたら良いな。

(5) 10月16日(火) 特定授業実践 (沖縄県義務教育課指導主事 仲松研先生の題材を参考)

- ① 単元名 「比例と反比例」 ~秋田が世界に誇る、あきたこまちの稲刈職人~
- ② ねらい 異なる事象の数量関係を表・式・グラフで表現し、与えられた条件に見合う作業計画を、自分なりに考え、他者に説明することができる。※数学的活動【①数学を見いだす活動】を意図
- ③ 学習課題 八郎潟町の田んぼアート(8000 m²)の稲を刈ります。稲刈機 A と B で協力し、午前9:00~午後5:00(8時間)に稲刈りを終える作業計画を考え説明しよう。



八郎潟町田んぼアート 8000 m²の稲を刈る



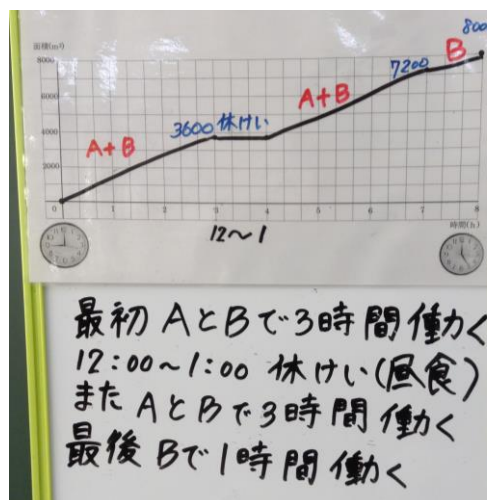
授業板書



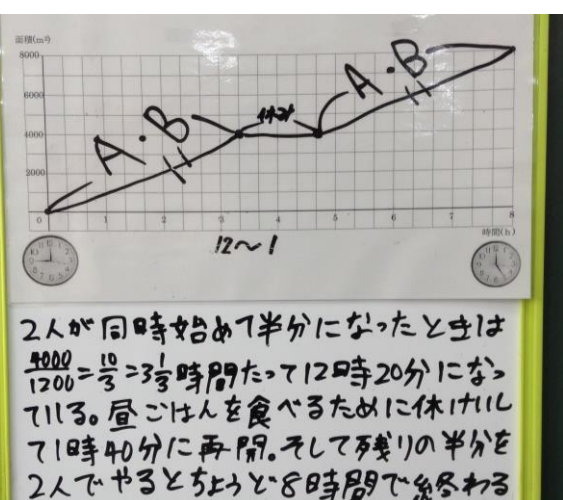
A 稲刈機 400 m²/h



B 稲刈機 800 m²/h



班の考え①



班の考え②

秋田の学校日記

城東中学校教諭 新垣裕己
平成31年1月10日(木)
第9号 不定期発行

秋田での年越しは人生最初で最後かもしれない。毎日のように雪が降り、自宅前と自家用車の「雪かき」が日課となっている。しんと降る雪や真っ白の銀世界がとても美しく、雪道をザクザクと踏みつけて歩くのが新鮮で何より楽しい。息子達は毎日雪だるまを作ったり、そり遊びをしたりして、暗くなっても公園から帰らず、ひたすら雪とたわむれている。しかしながら、寒冷地は「神経」と「お金」を使う所だなと身をもって実感している。自宅や学校でもストーブを使うので火気や換気に注意を払うし、凍結した道路での運転は恐ろしく、2回ほどスリップして動けなくなり、通りすがりの人に車を押しもらった。寒すぎて沖縄の暖気(無料)が恋しくなるが、温泉やスキーを満喫できる冬の秋田も大好きだ。

本校の冬休みは12月26日(水)～1月14日(月)の20日間あり、沖縄よりも一週間程度長い。その期間は、沖縄と変わらず部活動指導や職員会議、校内研修をし、冬休み明けに備える時間となる。早いもので秋田での学校生活も2ヶ月半となった。残り少ない時間となったが、城東中の先生方から多くを学び、生徒達のために一生懸命頑張っていきたい。



「データから見る秋田」 本号は、少しばかり秋田について調べてみたので、超簡単に掲載します。

(1) なぜ秋田の学力は全国高水準なのか！？

昭和30年代の秋田は、学力テストの全国順位が40位台だったという。そこで、様々な教育改革を行ってきたが、特に「少人数学習推進事業(少人数学級・少人数授業)」に力を入れたことで大きく実を結んだらしい。また、塾へ通っている子供の割合は小6で22.8%(全国49.7%)、中3で29.8%(全国60.4%)と、いずれも全国最下位なのである。更に「家で学校の授業の復習をする」率は小6で89.0%、中3で82.5%、どちらも全国平均を30ポイント以上も上回っている。それゆえに、秋田の子供達は塾に頼らずとも「家で勉強する」という習慣が定着していることがいえる。また、多くの家庭で「早寝・早起き・朝ご飯」が心がけられており、秋田の子供達の朝食摂取率は小6が97.7%で全国2位、中3は96.8%で全国1位である。早寝・早起きをして、きっちりと朝食を食べ、少人数クラスでみっちり勉強し、家でもしっかりと宿題をこなす。これが、秋田の子供達にとって当たり前の生活である。共立総合研究所が分析した「いい子が育つ都道府県ランキング」では、秋田が堂々の総合トップ！沖縄でも生活習慣や学習規律の見直し、授業改善の取組が浸透しているので、沖縄の将来が楽しみである。

(2) なぜ秋田は平均身長が日本一！？体力測定も全国高水準なのか！？

秋田に来て体格がいい子供達が多く不思議に思ったので、学校保健統計調査を調べてみると、小中学生男女の平均身長が全国1位を記録していることが分かった(沖縄は最下位)。なぜ子供達の背丈が立派なのか？ロシア系の血が影響しているという説(秋田美人とも関連)、栄養豊富なおいしい食材がたくさんある説、睡眠時間や雪かきで体が鍛えられたなど、様々な説があるらしい。また、驚いたことに秋田は学力だけでなく、体力測定も全国トップクラスを維持していることが分かった。それを受けて2月18日(月)、鹿児島大学保健体育科の與儀幸朝先生(元沖縄県公立教諭、附属学校教諭)が、本校や秋田県教育庁保健体育課、秋田大学を視察する予定である。

(3) 第8回 東北算数・数学教育研究会 in 盛岡市

1月5日(土)アイーナ岩手県民情報センター(盛岡市)で、上記の研究会に参加させてもらった。年始にも関わらず、東北7県から30名の算数・数学教諭の先生方が集った。本会は、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業づくりや児童生徒の問題解決の授業づくりについて、開発的に研究協議するという趣旨で発足している。私も実践発表者の一人として指名をいただき、過去に実践した授業を報告させてもらった。また、盛岡教育事務所の指導主事の先生が「沖縄県での出前授業実践を終えて」という題で報告していた。学校教育において、沖縄県と東北地方の「つながり」を改めて実感することができた。研修後半では、「数学的な見方・考え方」に焦点を当て三学期の授業づくりに検討し、東北地方の先生方と交流することができた。秋田ー盛岡まで自家用車で片道2時間半、吹雪の中、命がけの運転だったが、それ以上の価値ある研修となった(盛岡冷麺もうまかった)。



(4) 冬休み番外編 東風平中職員 研修旅行

12月27日(木)~29日(土)に、東風平中職員5名が、秋田へ視察に訪れた。滞在期間中は数年に一度の大寒波と報道され、沖縄人にとっては絶好の観光日和となった。初日から飛行機は着陸できるのか不安だったが、飛行機が大揺れの中にも関わらず、何とか着陸した(次の便から欠航)。到着してすぐに、大の大人が雪を見て触って大はしゃぎ。秋田の食と文化と自然を満喫することができ、充実した研修旅行となった。



世界三景 「寒風山」



秋田市 「金足農業高校」



山形県 「十六羅漢岩」



ユネスコ無形文化遺産登録
来訪神行事「男鹿のなまはげ」

秋田の学校日記

城東中学校教諭 新垣裕己
平成31年3月5日(火)
第10号 最終号

1年過ぎるのがこんなに早いと感じたことはなく、あっという間に秋田での生活もカウントダウンとなった。息子達も秋田での生活が楽しかったようで、本音を言えばもう1年は秋田にいたかったな。安保校長先生が「次年度も留任になった」と冗談で言ってくれたが、「そうなれば良いのに」と心の中では思っていた。

この1年間を振り返ると、たくさんの人に支えていただいて、言葉で言い表すことができないほど「感謝の気持ち」でいっぱいである。城東中の先生方、本当にお世話になりました、ありがとうございました。いつか南国の地で再会できることを願い、3月30日(土)、第二の故郷「秋田」と少しばかりお別れし、帰沖いたします。

沖縄に帰って実践したい8つの具体的取組 ～全職員が同じ目線で、全校生徒に同じ指導を行う～

この1年間で最も学んだことは「全職員がすべての教育活動を組織的に共通実践していること」だ。どのクラスにも、どの生徒にも分け隔てのない教育を、全職員が一致して遂行している姿は、本校では当たり前だった。特に、生活指導(学力を支える学習規律の徹底)は、沖縄に持ち帰って1つでも多く共通実践したい。

沖縄では「授業における基本事項」を活用しての研究授業や、学力調査官を招聘しての授業研究会など、授業改善の取組が浸透してきている。今後は、授業改善の方策4「学習を支える力の育成」に焦点を当て、具体的に実践していくことが、沖縄県の学力向上を支える「鍵」となっていくかもしれない。

① 『正座』の姿勢は、手を膝の上に置き、背筋を伸ばす (秋田では『気をつけ』という)

授業の開始時と終了時の号令(あいさつ)は、全生徒が適切な声量で、声を合わせて行う、そして3秒礼をする。

② 『返事』をさせる。

沖縄は大人の私たちも含めて返事が苦手かもしれない。例えば、授業中や全校表彰などで、名前が呼ばれたら大きな声で『はい!』と返事する。私たち職員も率先して返事をし、模範を示していきたい。

③ 『掲示物』を統一する(全校が無理でも、せめて学年で揃えたい)

研修会などで秋田市の中学校に行くと、学級などの掲示物を見て衝撃を受けた。何と、掲示物を張る場所や内容、班活動の取組が本校と全く同じだった。つまり、学校の特色は違えど、基本的には秋田市全職員が全生徒に同じ指導をしているのだと推察しており、効率的かつ効果的、そして公平性のある取組だと感じている。

④ 『席替え』は担任が決め、必要なら副担任や学年職員にも検討してもらう。

当初はくじ引きが平等だと考えていたが、座席配置も大切な指導の一環だと今は確信している。担任がクラスの間関係や授業態度をよく観察するので、必然的に生徒理解にもつながっている。生徒誰一人として孤立させず、全員が気持ちよく学校生活を送り、授業に集中できる環境を意図的に配置していく。

⑤ 教室に『学級用ティッシュ』は置かず、ハンカチ・ポケットティッシュは各自で準備する。

本校生徒は、当たり前のように全員がハンカチ・ポケットティッシュを持っている(給食で使うお箸も持参)。ゴミが出ないように指導するので、ゴミ箱の中身は、教室のほこりと少しばかりのティッシュくらいである。

⑥ 帰りの会などの『終了時刻』を揃える。

もちろん沖縄でも帰りの会の終了時刻は決まっているが、担任の先生によって早かったり遅かったり居残りをさせたりで統一感がない印象である(私は早かった)。本校では15:30 帰りの会終了、15:45 清掃終了(当番制)、16:00 部活動開始を、全校生徒、全職員が遵守している。従って、○組の生徒が「クラスで合唱練習をしていて、部活動に遅れました」ということがなく、居残りをさせることもほとんどない。

⑦ 集会は、授業同様に教室で『はじめます』と号令をかけ、廊下で整列し、無言で体育館に移動する。

沖縄では避難訓練や集合訓練時に行っていることを、本校では日常的に行っている。基本的に『地べた』に座ることはなく、イスに座るので姿勢が悪くなることはない。イスを持って体育館に移動するが、安全面を考慮してイスの持ち方が決まっていたり、並べ方も体育館の板2枚分をクラスの間隔としたりするなど、きめ細かく指導している。教室⇒廊下・階段⇒体育館と屋内直通ではない沖縄では、イスを運ぶことは難しいかな。

⑧ 『言葉遣い』の指導

本校では職員室に教科係や部活動、配布物などの用事で数多くの生徒が入室する。そこでよく耳にするのは、先生方の『言葉遣い』の指導である。基本的に生徒は用件を言う前に、『〇〇先生、おつかれさまです。ただ今お時間よろしいでしょうか』と伺う。中学生がまるで仕事のできる会社員のようだ。以下に例を示す。

生徒：〇〇先生に用がぁってきました⇒教師：用ではなく『用事』です、あなたに用はありません。

生徒：〇〇先生に用事ぁってきました⇒教師：用事ぁってではなく、用事ぁっての『が』を大切に下さい。

生徒：私のお母さんが・・・⇒教師：小学生ではないのですから、お母さんではなく『母』と言いなさい。

(番外編) 秋田の冬祭り&小正月行事 ～秋田は冬も楽しかった！美味しかった！寒かった！んだぁんだぁ～

秋田の2月は冬祭りや小正月行事が盛大に行われる。沖縄が山羊を食べるように、秋田は「野うさぎ」や「熊」を食べることに驚いた。また、牛・豚・馬のホルモン、かまくらの中で食べるジンギスカンも最高にうまかった。おかげさまでこの1年間、学校現場のみならず、秋田県(東北地方)の文化も学ぶことができた。秋田の学校日記「全10号」を読んでいただいた方々、本当にありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。



青森県
十和田湖冬物語



横手市
かまくら祭り



北秋田市
森吉山の樹氷



岩手県 いわて雪祭り



湯沢市
犬っ子祭り



西木町 世界三大 紙風船祭り